中国文化事典

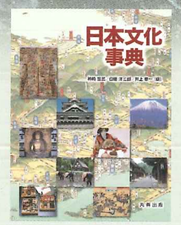
中国文化事典編集委員会 編
A5判・800頁 定価(本体20,000円+税) ISBN978-4-621-30117-3

特色

- ●国内外で活躍する研究者や実務家138名によるフレッシュな書下ろし。
- ●ワンテーマ見開き(2または4頁)完結でどこからでも興味深く読める。
- ●古代から現代までの悠久・雄大なる歴史を330項目に凝縮。
- ●中国の伝統的な風習&現代の習慣もさまざまな角度で解説。
- ●思想・哲学・文学など大人気のテーマも余すことなくピックアップ。
- ●中国語には音節表記(片仮名)を付けて読みやすさを向上。

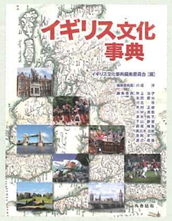
写真:中国国家観光局(大阪駐在事務所)

関連書籍

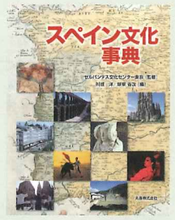


日本文化事典
神崎宣武・白幡洋三郎・井上章一 編
A5判・814頁
定価(本体20,000円+税)
ISBN978-4-621-08979-8

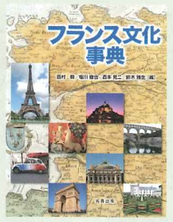
イタリア文化事典
公益財団法人 日伊協会 監修
イタリア文化事典編集委員会 編
西本 晃二 編集委員長
A5判・934頁
定価(本体20,000円+税)
ISBN978-4-621-08429-8



イギリス文化事典
イギリス文化事典編集委員会 編
川成 洋 編集委員長
A5判・946頁
定価(本体20,000円+税)
ISBN978-4-621-08864-7



スペイン文化事典
川成 洋・坂東省次 編
セルバンテス文化センター東京 編集協力
A5判・922頁
定価(本体20,000円+税)
ISBN978-4-621-08300-0



フランス文化事典
田村 毅・塩川徹也・西本晃二・鈴木雅生 編
A5判・798頁
定価(本体20,000円+税)
ISBN978-4-621-08522-6

丸善出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階 書籍営業部 TEL(03)3512-3256 FAX(03)3512-3270 http://pub.maruzen.co.jp

注文書

丸善出版株式会社 行 FAX 03-3512-3270

中国文化事典 定価(本体20,000円+税) ISBN978-4-621-30117-3 冊

お名前

ご住所 〒

TEL

※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次(流通)・弊社間で商品手配の目的に利用させていただきます。

取扱店

Shin.17.A0Ce

悠久なる歴史に紡がれた文化とは

中国文化事典

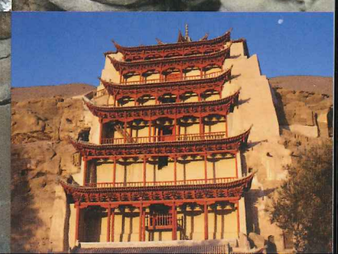
中国文化事典編集委員会 編
A5判・800頁
定価(本体20,000円+税)
ISBN978-4-621-30117-3

【編集委員長】
竹田 晃 東京大学名誉教授

【編集幹事】
大木 康 東京大学東洋文化研究所教授

【編集委員】(50音順)
板倉聖哲 東京大学東洋文化研究所教授
市川桃子 明海大学名誉教授
尾崎文昭 東京大学名誉教授・東洋文庫研究部研究員
木村英樹 東京大学名誉教授・追手門学院大学教授
西本晃二 東京大学名誉教授
林 文孝 立教大学教授

丸善出版



刊行にあたって（抜粋）

近代以前の中国においては、学者や詩・文の作者とされる〈文化〉の担い手は、すべて士大夫階級（中央政府および地方の行政府における上・中級官僚）の人々であった。隋代に起こり唐代に定着した中国独自の官吏登用試験の「科挙」に、必須の重要科目として、作詩・作文が課せられたこともあって、歴代の大学者・大詩人と称される〈文化〉人も、彼らの視野には常に「国家の政治」が入っていたといえる。士大夫階級だけでなく、時には政治の最高位にある皇帝自身が、第一級の〈文化〉人であった。

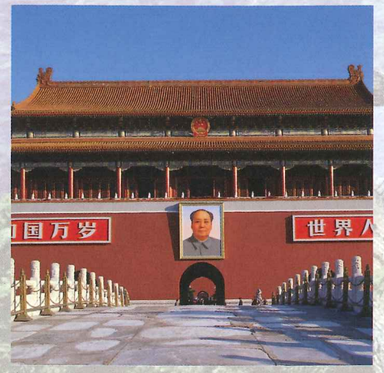
中国において、〈文化〉ではなく、近代的なcultureに相当する「文化」が意識され始めたのは、1840年のアヘン戦争以後、1911年の辛亥革命を経て、国家全体が近代化の歩みを踏み出してからのことである。当時、特にヨーロッパや、明治維新後の日本への留学生が新しい「文化」の担い手となった。

このような中国の長い歴史の中で、〈文化〉から「文化」への変化の過程を見渡すと、その中に、中国〈文化〉の日本への影響や日中の〈文化〉交流の事象が随所に見えてくるのがこの『中国文化事典』の特色の一つといえる。

本事典は、単なる事項の寄せ集めではなく、中国における〈文化〉と「文化」の流れをつかめるようにと意図して編集・構成したつもりである。とはいうものの、広大な地理的空間と、数千年に及ぶ歴史の中で培われ、発展してきた思想・言語・文学・芸術・生活の実態に迫り、それを解読・紹介するのは極めて困難な作業であった。幸いにして、本書の企画・編集にあたっては、現在わが国の中国文化の各分野の第一線に立つ有能な人材を編集者に得て、その学縁・人脈をたどって、それぞれの分野で優れた見識と豊富な体験をもつ執筆者諸氏のご協力を得ることができた。特に現代中国の生活文化やサブカルチュア等について、生々しい実体験にもとづく解説を書いてくださったネイティブの研究者諸氏に、厚く御礼申し上げる。

編集委員長　竹田　晃

目　次



【1章-歴史】
中国史／歴史書／官僚制／科挙／古代の文明／伝説の帝王たち／殷周の時代／春秋戦国の時代／秦始皇帝の統一／項羽と劉邦／武帝の時代／司馬遷と『史記』／王莽と光武帝／曹操・劉備・孫権／晋と南北朝時代／隋の煬帝／唐の高祖と太宗／長安の都／玄宗と楊貴妃／趙匡胤の即位／王安石と蘇軾／岳飛と秦檜／開封と杭州／チンギス・カン／明の太祖朱元璋／永楽帝の遷都／明から清へ／乾隆帝／アヘン戦争／太平天国の乱／日清戦争と戊戌変法／孫文／五四運動／蔣介石／毛沢東／鄧小平／歴史を動かした女性たち

【2章-地理】
地形／気候／黄河と長江／五岳／南船北馬／大運河／世界遺産／地域性／北京／天津／瀋陽とハルビン／上海／南京／蘇州／杭州／広州／香港／マカオ／成都

【3章-思想】
神話／孔子と孔子像／諸子百家／儒教／現代の儒教／道家思想／現代の道教／仏教の伝来と展開／チベット仏教／現代中国仏教／民間信仰／イスラム教の伝来と現状／キリスト教の伝来と現状／中国伝統思想と西洋との出会い／いわゆる現実主義／目録学／近代思想毛沢東主義／西洋現代思想と現代中国／本草／数学／天文暦法／四大発明／医学／道／気・陰陽・五行／天・理／政治の原理／人間性と倫理／生命観と孝／法治と人治／書物／蔵書家／道教の歴史／図書館／学制と学校教育／受験勉強／書院での教育／気功／四書・五経／天の祭祀／君主の即位／死の儀礼／祖先祭祀／易の占い／風水の占い／兵法／居敬窮理／西洋近代思想と中国との出会い／現代人の生活と儒教

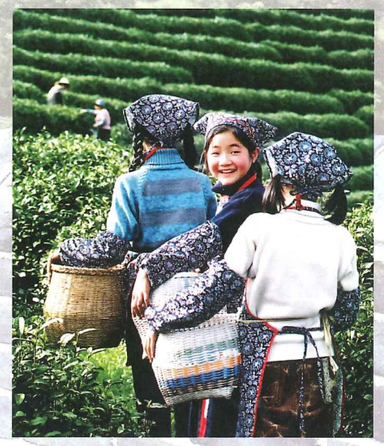
【4章-言語】
中国語の語彙／中国語の文法／漢字／漢字文化論／中国語と漢字／料理／共通語と方言／外来語／ことば遊び／ジョーク／挨拶表現／名前／悪態と褒め言葉／謝罪と釈明／外交辞令／話し言葉と書き言葉／メールの中国語／標語とスローガン／ことわざと故事成語

【5章-文学】
詩経／楚辞／漢詩／陶淵明／謝霊運／官体詩／詩論／唐代の詩と文／李白／杜甫／柳宗元／白居易／韓愈／李賀／李商隠／詩語のイメージ／わび・さびの発見／花信風／日本に来た漢詩／欧州に行った漢詩／漢詩をつくる／北宋の詩／蘇軾／南宋の詩／陸游／宋代の詞／姜夔／古楽府／六朝志怪①／六朝志怪②／世説新語／唐代伝奇①／唐代伝奇②／唐代伝奇③／変文／白話小説のルーツ／元好問と薩都剌／明代の詩と詩論／三国志演義／水滸伝／西遊記／金瓶梅／三言二拍／隋唐演義と楊家将演義／紅楼夢／清末小説／金聖歎の文芸批評／清代の詩と詩論／聊斎志異／詩論の発生と展開／魯迅と周作人／中華民国時期の小説／中華民国時期の詩と演劇／自己表現する女性作家たち／メロドラマと武侠小説／社会主義文学／1980年以後の文学世界／ノーベル賞作家

【6章-美術】
芸術，美術と書画／三希堂／故宮博物院／上海博物館／中国美術収集／青銅器／三星堆／秦始皇帝の兵馬俑／初伝期の仏像／石窟／唐都の美／ソグド人の美術／王羲之／顔真卿／水墨画／范寛と郭熙／都を描いた絵画／文人画／墨竹・墨梅／中国奇人伝／唐寅／董其昌／郎世寧／斉白石・呉昌碩／現代美術／正倉院宝物／東山御物／切断される絵画／墨蹟／雪舟／来舶画人／呉昌碩との交流／吉祥文様／耀変天目／青磁／染付／屈輪文／文房四宝／明代家具／庭園芸術／奇岩／民間美術／漫画／盗掘の歴史／真贋のはざま／蝋人形／千字文／帖学派と碑学派／宋の四大家

【7章-芸能】
楽・律・音楽理論／楽器／琴／楽譜／歌曲／民間歌謡／近現代の西洋音楽／近現代ポピュラー音楽史／広東の木魚書／雑技／中国演劇の歴史／蘇州の弾詞／仮面劇／元の雑劇／元の戯曲／南戯と伝奇／明の戯曲／昆劇の誕生／劇場と舞台／俳優／京劇の誕生／近代の名優たち／地方劇／現代演劇（話劇）／映画／テレビドラマ

【8章-生活】
名前のつけ方／出産と幼児期のお祝い／学歴のもつ意味／就活／婚活／成人・結婚の儀式／健康保険／定年と年金／寿礼／葬礼と埋葬／死後イメージ／親戚とのつき合い／近隣とのつき合い／先達・友人とのつき合い／もてなし／面会のルール／宴会の作法／官とのつき合い／宗族・親戚／自己人／"出身"／プライバシーの境界／ジェンダー／セクシャリティ／チャイニーズネス／"鬼"という感覚／行儀という感覚／美女の基準／季節感／干支の感覚／色の感覚／趣味／自慢／贅沢と節約／年中行事／祝日と記念日／民俗・民族の祭り／貨幣／時間感覚と空間感覚／現代ファッション文化／玉／コミュニケーションの道具／住文化／伝統的住宅構造／現代の集合住宅／家具に凝る／トイレ／茶／酒／飲酒／食事の作法／日常食／基本調味料／近世伝来の食材／肉と魚／医食同源／各地の特色料理／清真菜／満漢全席／ゲテモノ食い／中国医学／気功と健康・医療／服装の歴史／公園／ゲームと賭け／子どもの遊び



【付　録】
中国の世界遺産一覧／写真で見る中国文化紀行／中国歴史地図／参考文献

【事項索引・人名索引】